

環境調査結果のお知らせ

平成29年12月20日8時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は12.6~16.7℃で、前回調査時(H29.11.21)と比較して全層で3.0~4.8℃下降していました。

塩分は28.0~32.6で、前回調査時と比較して全層で0.4~2.3上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.7~8.8mg/lで、前回調査時と比較して全層で0.9~1.4mg/l上昇していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は3.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.11.21)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	12.6	15.8	▲ 3.2
1m	13.9	16.9	▲ 3.0
2m	15.9	20.7	▲ 4.8
B-1	16.7	21.1	▲ 4.4

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.11.21)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	28.0	26.3	1.7
1m	29.7	27.4	2.3
2m	31.6	31.2	0.4
B-1	32.6	31.6	1.0

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.11.21)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	8.8	7.7	1.1
1m	8.4	7.5	0.9
2m	8.0	6.6	1.4
B-1	7.7	6.3	1.4

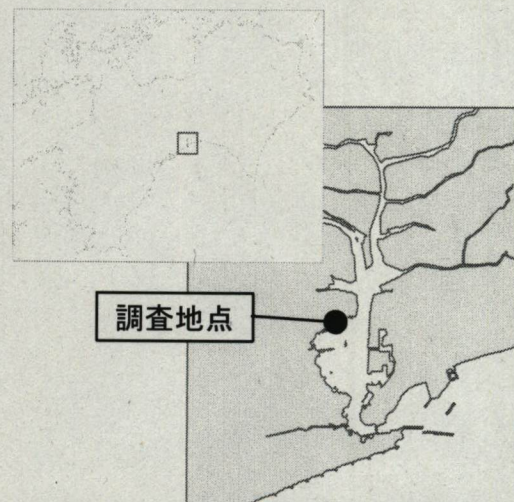


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	4.0
透明度	3.0	2.8

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステイナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	50
1	0	0	0	0	30
2	0	0	0	0	100

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>